

特集

ITを活用して実現を目指す 組合員ファーストの事業

くらしの価値観やライフスタイルが多様化し、商品やサービスが充実した現在、流通・小売事業者は、**利用者目線で事業を組み立てる**ことが求められており、生協もその例外ではありません。**一人ひとりのくらし向きに合わせた接点や利用のあり方**を構築する取り組みを紹介します。



ならコープ版ネットスーパー「コープあったか便」に必要な機能は何か、同生協は関連団体である協同福祉会の特別養護老人ホームの利用者にヒアリングした。

注目記事！

●特別企画
中国製冷凍餃子事件、そのとき会員生協の現場では
コープみらい
代表理事 常務理事 熊崎 伸氏



日本生協連「中国製冷凍餃子事件の経験を風化させない月間」職員学習会で講演する熊崎氏。



〈主な連載〉
巻頭インタビュー
●わが生協、かくありたい！
みやぎ生協
代表理事 理事長 宮本 弘氏

- 店舗連載
これからの店舗事業のあり方を考える
- 宅配連載
全国の宅配事業・宅配センター運営を学ぶ

- 第6回 エフコープ
若手職員がアメリカの流通業から学んだのは
ストアコンセプトとコミュニケーション
- 第18回 ユーコープ
配送センターのイベントに300人が参加
宅配の認知度と組合員満足度を高める



生協運営資料

No.294
2017.3
B5判
奇数月 10日発行
定価 870円・年間 5,220円

次号「特集」予告
●明日の生協を支える「人づくり」の取り組み(仮)
2017年に入り、団塊の世代が70歳を超え始めた一方、生産年齢人口は6割を切ろうとしています。生協の経営上、人材の確保と定着、将来を支える人づくりは、待ったなしの課題です。次号は、2020年代を見据えた人事労務の取り組みについて特集します。

購読のお申し込みは、所属生協担当窓口まで 日本生協連 広報部 出版G Tel 03-5778-8183